

(約10mmのスペース)

土木学会 景観・デザイン研究発表会

講演用論文執筆要領

(約15mmのスペース)

景観・デザイン研究編集小委員会¹・四谷 太郎²

(約5mmのスペース)

¹正会員 土木学会 (〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目, E-mail:doboku@jsce.ac.jp)

²正会員 工博 土木工学部土木工学科 (〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目, E-mail:doboku@jsce.ac.jp)

(約10mmのスペース)

この文書は土木学会景観・デザイン研究発表会における講演用論文執筆要領であると同時に書式見本(和文用)を兼ねている。原稿そのものの体裁(A4)をとっているため、このファイルの中の文章や図表を書こうとしている実際のものに置き換えれば、所定のフォントや配置の原稿を容易に作成することが可能である。なおアブストラクトはこのスペースに7行まで記載可能である。

(約5mmのスペース)

キーワード:明朝体9pt, イタリック, 2行以内で記載する。

(約10mmのスペース)

1. 基本的事項

(1)原稿体裁と分量

- ・原稿はPDF形式にてCD-ROMに収録される。用紙サイズはA4サイズとする。
- ・マージンは上辺19mm, 下辺24mm, 左右とも20mmとする。
- ・冒頭部を除き, 基本的に52字×48行の2段組(片段25字+段間2字(約6mm)+片段25字)とする。
- ・使用言語は日本語もしくは英語とする。
- ・ワープロ・タイプ原稿を原則とし, 本文・表における文字の手書きは認めない(スケッチやスケッチ等の一部に手書き文字が含まれる図をスキャナ入力にて使用することは構わない)。
- ・カラーの図表や写真を用いることができる。ただしモノクロ印刷による出力を考慮して画質や配色を決めることが望ましい。
- ・原稿は図表を含め2頁以上12頁以内とする。

2. 原稿構成と書き方

(1)タイトルページ

タイトル, 著者, 所属, 連絡先住所, E-mailアドレス, アブストラクト, キーワードは横1段に収める。タイトル部分の左右のマージンは本文の左右のマージンよりもそれぞれ10mmずつ大きくとる。

a)タイトル

タイトルについて, 上部マージンより約10mmのスペースをとり, 配置はセンタリングとする。フォントはゴシック体20pt, 英文タイトルはTimes18ptとする。

b)著者名

タイトルより約15mmのスペースをとり, 明朝体12ptフォント, センタリングで配置する。連名者がいる場合は「・」により区切り, 著者名と以下の所属とを肩付き数字で対応付ける。

※英文原稿の場合は, フォントはTimes12pt, 区切り記号は「,」とする。

c)所属

所属の部分は, 著者名より約5mmのスペースをとり, 土木学会会員区分, 学位, 所属機関名, 住所, E-mailを併記する。住所およびE-mailは括弧でくくる。

フォントは明朝体9pt(英語名はTimes9pt), センタリングで配置する。

連名者がいる場合は1名分ずつ改行して記載し, 著者名と肩付き数字で対応付ける。

d)アブストラクト

アブストラクトの分量はこの体裁で7行までとする。所属より約10mmのスペースをとり, 明朝体9pt(英文はtimes9pt), センタリングで配置する。

e)キーワード

論文に深く関わる用語を2行以内, 日本語で記載する。アブストラクトより約5mmのスペースをあけ, 明朝体9pt, イタリック体, 左寄せで配置する。'キーワード:'という文字はボールドイタリック体とする。

(2)本文

a)配置・フォント

キーワードから約10mmのスペースをとり2段組の本文を書き出す。本文の文字は明朝体10ptフォント（※英文原稿：Times11pt）を用いる。

b)脚注および注

脚注や注はできるだけ避け、本文中で説明するか、本文の流れと関係ない場合には付録として本文末尾におく。

c)見出し

見出しは章、節、項の3段階とし、フォーマットは章[1. , 2. , 3. …], 節[(1), (2), (3)…], 項[a), b), c)]とする。スペースについては、章の見出しは上2行、下に1行あけるものとする。節の見出しは上のみ1行あけるものとする。項の見出しは上下にスペースは不要。フォントは章(11pt), 節(10pt), 項(10pt)ともにゴシック体とする。

※英文原稿の場合は、章(12pt), 節(11pt), 項(11pt)としいずれもTimesのボールド体とする。なお章の見出しの文字はすべて大文字とする。

d)句読点

和文の場合でもカンマ「,」とピリオド「.」を用いる。句読点「、」「。」は使用しない。

(3)数式および単位系

数式は本文と独立している場合でも文中に挿入されている場合でも同じ数式用のフォントを用いる。本文と独立した数式はセンタリングし、式番号は括弧書きで右詰とする。

単位は原則としてSI単位を使用する。

$$\text{(数式例)} \quad G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t) \quad (1)$$

(4)図表、写真

a)図表の配置

原則として図、表、写真の横には本文テキストを組み込まない（1段もしくは2段の幅すべてのスペースを活用）。1頁すべてを1つの図表・写真で使用する場合、頁に対し横向きに配置するのも可。この場合キャプションも横向きにする。見開き両頁で合わせて見せるようなことは避ける（図-2）。

b)写真について

画像形式データもしくはスキャナ入力したものを原稿中にレイアウトし貼り付ける。印刷したときに鮮明なものとなるか解像度に注意を要する（100万画素以上）。

c)キャプション

表-1 表のキャプションは左寄せ、表上に配置する。長い時はインデントして折り返す。

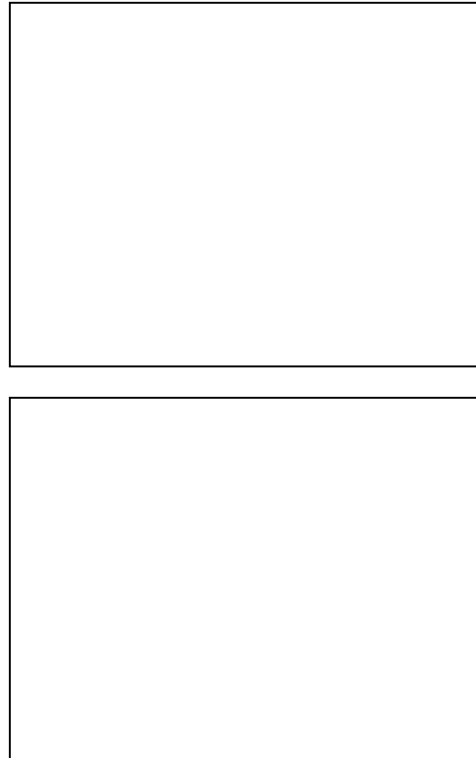


図-1 図および写真のキャプションは左寄せ、図下に配置する。長い時はインデントして折り返す。

図および写真の場合は、「図-1 Aに関する図」のように記載し、図-○の部分はゴシック体9pt、それ以外は明朝体9ptとする。配置は図もしくは写真の下でかつ左寄せとする。表についても同様に「表-1 Bに関する表」のように記載し、配置は表の上でかつ左寄せとする。※英文原稿の場合のフォントは、Times9ptとし、表記は、**Fig.1 *****, **Table 1 *****のようにする（**Fig.1**, **Table 1**の部分のみボールドとする）。

d)引用および加筆

図、表、写真を他の著作物から引用する場合は出典を明記し、事前に原著者の了承を得ることが必要である。また引用図表に修正・加筆をした場合はその旨記載する。

(5)参考文献の引用とリスト

a)引用とリストの配置

参考文献は出現順に番号を振り、原稿末尾に結論から1行あけてリストとして示す。引用箇所ではその番号をこのように¹⁾右肩に右括弧付き数字で示す。

b)ホームページアドレスの扱い

参考文献は公開後に時間が経過してもたどれるものだけとする。したがってインターネット上のホームページや私信などを参考にした場合は文末の参考文献でなく本文中に示す。

大きい図面・表・写真を使用する場合

この四角の領域で示されるような大きさの図面・表・写真を1頁全面に配置するのも可とする。頁に対し横向きに配置する場合はキャプションも横向きにする。見開き両頁で合わせて見せるようなことは避ける（図2）。

図2 大きい図面の配置について

c)リストのフォーマット

著者名、雑誌名（書名）、巻号、ページ、発行年の順に記載する。英文雑誌の氏名の書き方は、姓、イニシャルとする。著者数が多い場合でも全ての著者名を記載する（本文中での引用については第一著者のみを書き、あとを”ほか”もしくは”et al”などと省略しても構わない）。単行本の場合は、著者名、書名、ページ、発行所、発行年とする。英文の単行本の場合は、書名は各単語とも頭文字は大文字とする。雑誌名、書名はイタリック体にする。

d)参考文献のフォント

「参考文献」の文字をゴシック体10ptで記載し、改行してからリストを配置する。日本語文献は明朝体9pt、英語文献はTimes9ptとする。

※英文の場合、見出しは**REFERENCES** (Times11pt, ボールド体)とし、内容はTimes9pt, 通常フォントとする。

(6)謝辞について

謝辞は結論の後に1行空けて置く。見出しとコロンをゴシック体10ptで書き、その直後から明朝体10ptで文章を書き出す。

※英文の場合、見出しは

ACKNOWLEDGMENT(Times11pt, ボールド体)とし、説明はTimes10pt, 通常フォントとする。

(7)付録について

付録がある場合は謝辞と参考文献の間にそれぞれ一行のスペースを空けて配置する。「付録」の文字をゴシック体11ptとし、内容は10ptとする。

※英文の場合、見出しは**APPENDIX** (Times12pt, ボールド体)とし、内容はTimes11pt, 通常フォントとする。

謝辞：本研究の資料調査において***氏には多大なご協力を頂いた。厚く謝意を表する。

付録

参考文献

- 1) 四谷太郎, 土木次郎: **に関する研究, 土木学会論文集, No. **/IV-**, pp. **-**, 2004
- 2) 四谷太郎, 土木次郎: **学 (上), pp. **-**, **書店, 2004
- 3) Yotsuya, T., Doboku, J.: A study on ***, *Journal of ****, Vol. *, pp. **-**, 2004
- 4) Yotsuya, T., Doboku, J.: *Handbook of Landscape Research*, pp. **-**, *** Press, New York, 2004